

脳神経外科専門医研修コース

概要

当院は日本脳神経外科学会専門医訓練施設研修病院に指定されており、国立病院機構横浜医療センターと連携して研修を行っている。平成26年手術総数230(脳腫瘍:15、脳動脈瘤:22、その他血管障害:68、外傷:80、血管内手術:31、うち脳動脈瘤:22、頸動脈ステント術:14他)。

研修内容

手術に関しては以下を基準として習熟度に応じて出来るだけ主体的に参加できるようにする。

1年次：開頭・閉頭術の術者、脳内血腫や頭部外傷手術の介者

2年次：脳内血腫や頭部外傷の術者、脳動脈瘤や脳腫瘍の介者

3～4年次：脳動脈瘤や脳腫瘍の術者

血管内手術の研修：主として脳動脈瘤のコイル塞栓術や頸動脈ステント留置術を行っている。

日本脳神経血管内治療学会専門医の下で研修が可能。

神経学的検査、解剖、画像診断、リハビリテーションについても診療・カンファレンス等を通じて研修していく。

2014年度実績 卒後4年目医師 脳動脈瘤術者 6例、CEA 4例 他

週間予定

月～金：毎朝のミーティングで、夜間の入院・前日からの変化につき検討。回診時に画像診断につきカンファレンス。

抄読会：週1回、術前カンファレンス：随時、SCUカンファレンス（関係全科）：月1回

リハビリとの合同カンファレンス：月1回

社団法人 日本脳神経外科学会 専門医認定試験受験資格：

卒後臨床研修2年の後、社団法人日本脳神経外科学会の専門医のもとで通算4年以上所定の訓練場所で訓練を経たもの。

この間少なくとも3年以上は脳神経外科臨床に専従する。

少なくとも4年以上社団法人日本脳神経外科学会の正会員であること（＝学会への入会が必要）。

従って、後期研修最短4年で受験資格を得ることとなる。

なお、専門医取得後は満65歳まで生涯教育の義務が課される。

後期研修医の修了要件

社団法人 日本脳神経外科学会専門医認定試験受験資格を得た時点で後期研修医を修了したものとする。